

めいけいのオープンキャンパスへ行こう!

ACCESS
名鉄小牧線「田原神社前」駅から無料スクールバスが利用できます!

7/22日 8/5日・25日 9/8日 11/11日

◆10:30~14:30(10:00 受付開始) ◆学部学科説明/体験授業/学食無料体験/総合相談コーナー など

事前予約 webで受付中!



10/13日・14日

MEIKEISAI
10月13・14日は、名経祭(大学祭)! 進学相談会も同時開催。



LUNCHTIME
ランチを食べながら学生クルーとのおしゃべりをお楽しみください!

メイケイ People 頑張ってる「名経生」を紹介します!

AIFA AWARDS 2017 女子ベストイレブン(年間優秀選手)

今回、素晴らしい賞をいただくことができ、光栄に思っています。昨シーズンは、なかなか結果を残すことができませんでした。そうした状況の中での受賞は自信に繋がりました。この受賞を機にさらに自分を見つめ直し、個人としてもチームとしてもレベルアップしていけるよう、日々精進していきたいと思っています。

人間生活科学部 教育保育学科3年 戎谷亜美さん
岡山県作陽高等学校(岡山県)出身 ●女子サッカー一部



第7回 もっと噛んで歯ッピー レシピコンテスト 高齢者向け部門で「銀賞」

高齢者の方をイメージし、食欲がそするように彩りを華やかにしました。また、ポリ袋や電子レンジを使うことで、誰でも作れるように工夫しました。自分で考えた料理が受賞できて嬉しかったと同時に、自信につながりました。今後も学びを深めるため、さらに勉学に力を入れていきたいです。

人間生活科学部 管理栄養学科4年 長岡侘奈さん
新潟県立三条商業高等学校出身



第36回 犬山シティマラソン 5km(高校卒業から29歳の部)「準優勝」

高校陸上部のキャッチフレーズ「はしるのだいすき!」をモットーに、毎日ランニングで体を鍛えています。今大会は納得のいくタイムではないものの「準優勝」を果たしました。また、夏はカナダ短期留学を機に「日本とカナダのマラソン文化の違い」をテーマにレポートを作成する予定です。今後もコミュニケーション能力を生かし、仲間と新しい挑戦をしていきたいです。

経済学部3年 大竹秀幸さん
滝高等学校(愛知県)出身



2019年度入試日程 ※選考方法については、「2019年度入試試験要項」にてご確認ください。

■大学 経済学部、経営学部、法学部、人間生活科学部(教育保育学科・管理栄養学科)

入試区分	出願期間(消印有効)	願書持ち込み受付日*	試験日	合格発表日	
A O I 期	2018年8月20日(月)~9月13日(木)	9月14日(金)	9月22日(土)	9月28日(金)	
入試区分	出願期間(消印有効)	願書持ち込み受付日*	試験日	合格発表日	
一般推薦 前期	2018年10月2日(火)~10月26日(金)	10月29日(月)	11月3日(土)	11月9日(金)	
入試区分	出願期間(消印有効)	願書持ち込み受付日*	試験日	審査結果発表日	合格発表日
プラチナ奨学生選抜	2018年11月13日(火)~12月7日(金)	12月10日(月)	12月16日(日)	12月21日(金)	1月25日(金)

*その他、AO入試(Ⅱ~Ⅶ期)、一般推薦(後期)、一般入試、センター利用入試も実施します。*願書持ち込み受付日は、入試広報部に願書を持ち込みいただくこととさせていただきます。

■大学院 法学研究科/法学専攻(修士課程)・企業法学専攻(博士後期課程)、会計学研究科/会計学専攻(博士前期課程)・(博士後期課程) 人間生活科学研究科/幼児保育学専攻(修士課程)・栄養管理学専攻(修士課程)

研究科	専攻	課程	入試区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日
法学	法学	修士	I 期	2018年8月28日(火)~9月6日(木)	9月30日(日)	10月5日(金)
会計学	会計学	博士前期				
人間生活科学	幼児保育学・栄養管理学	修士				

※上記各研究科・専攻の入試には、推薦、一般、社会人、外国人留学生の入試区分があります。
※法学研究科(修士・博士後期課程)、会計学研究科(博士前期・後期課程)、人間生活科学研究科では、Ⅱ期試験(2月)も実施します。

学校法人市邨学園教育研究充実寄附金のお願いについて

学校法人市邨学園では、少子化の進行などにより今後より一層厳しさを増す私学を取り巻く環境を踏まえ、111年積み上げて参りました教育・研究活動の益々の振興充実をはかるべく、「学校法人市邨学園教育研究充実寄附金」(任意)を募集いたしております。

趣旨にご賛同いただき、ご寄附をお申し出いただける場合、またご不明の点などありましたら、右記までご連絡いただけますよう、よろしくお願いたします。なお、本法人は、特定公益増進法人の認定に加え、税額

控除対象法人の認定を受けました。これにより、個人の方のご寄附については、確定申告時に税額控除と所得控除の2つの制度から、より所得税の減税効果が大い制度を選択することが可能となります。

寄附金に関する照会・連絡先

学校法人市邨学園 法人本部(寄附金担当)
TEL 052-853-0047(代表)

MEIKEI

あなたのご意見をお聞かせください

「名経大通信」Vol.57について、ご意見や感想などございましたら、入試広報部(右記連絡先)までお聞かせください。

MEIKEI

名経大通信 Vol.57
2018.6.30
名古屋経済大学



MEIKEI 名経大通信 Vol.57

平成30年6月30日発行 名古屋経済大学

〒484-8604 愛知県犬山市内久保6-1 TEL 0568-67-0511(代) http://www.nagoya-ku.ac.jp/

入試広報部 TEL 0568-67-0624 FAX 0568-69-2700
●本誌掲載の誌名・写真・イラストなどの無断転写・複製・転載を禁じます。

イベント Digest 入学式 & 新入生歓迎行事

平成30年度 入学式

4月1日(日)、市邨記念体育館にて名古屋経済大学および大学院の入学式を挙行了。天候にも恵まれ、満開の桜が咲き誇るキャンパスでこの日、市邨・高蔵高等学校の吹奏楽部による合同演奏に迎えられ真新しいスーツに身を包んだ新入生が大学生活の第一歩を踏み出しました。

開式の辞、大学歌の斉唱の後、佐分学長からは「多くの大学において学長は入学式における祝辞の中で、新入生に向かって今日からは高校時代と違って諸君を大人として扱うので責任を持って行動するようにと話しかけるでしょう。しかし、私はあえて申し上げますが、名古屋経済大学は新1年生を大人としては扱わず、4年間をかけて立派な大人に育てていくための第一歩と位置づけたいと思います」との言葉が贈られました。佐分学長の告辞に続き、末岡仁理事長、来賓の



新入生を代表し宣誓をする大倉宏汰さん

犬山市長山田拓郎氏、犬山商工会議所会頭日比野良太郎氏から祝辞を頂戴しました。

その後、新入生代表の大倉さんが、「犬山という地域性、国際性の高い土地で社会を学び、また学部ごとの専門的な知識を培い、立派な社会人になれるよう踏み出していきたくて」と抱負を述べました。



サクラの花も満開でお出迎え...



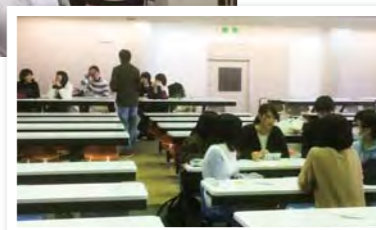
入学前スクーリング 人間生活科学部 管理栄養学科 名駅サテライトキャンパス 12/16(土) 犬山キャンパス 2/3(土) 実習を通じた体験学習&ピアサポートプログラム

本年度より新たな試みとして、入学予定者を対象とした入学前スクーリングを開催しました。初回の12月16日(土)は現場で活躍する管理栄養士による講演とグループワーク、2回目の2月3日(土)は実験による体験学習を実施。これからの大学生活に向けて、高校の生物、化学について何をしっかり復習すべきかについて、教科書、参考書を使って解説しました。新入生の約半数が参加し、ピアサポーターとして加わった先輩たちと歓談する様子もみられました。(人間生活科学部 管理栄養学科教授 古市卓也)



実験を通して「生物・化学」を復習してみよう!

体験学習 「アロマ(匂い)の科学」



ピアサポートプログラム 「管理栄養士が解決すべき社会の問題」

フレッシューズセミナー 法学部 犬山キャンパス 4/4(水) OBによる講演会を実施しました

4月4日(水)、法学部新入生を対象に、「フレッシューズセミナー」が開催されました。本イベントは、法学部学習支援室の学生スタッフが企画・運営を行い、4名の名経大OBを招いて、学生としての心構えや、社会で必要なことについて講演をいただきました。司法書士の大海さんからは業務についての紹介を、同じく司法書士の資格を持つ福島さんからは各種資格を有することのメリットと名経大のサポート制度について紹介がありました。

名古屋市の岡田さんからは、コミュニケーション能力を磨くことで、他大学出身者にも勝るといふアドバイスがありました。一方、保険会社に勤務されている金谷さんは、大学で学べるありがたさとお金を稼ぐことの厳しさ、大人になることの責任の重さについて話されました。いずれも、母校と後輩のことを大切に思う名経大OBならではの熱いエールでした。

また当日は、海外留学をした先輩たちの体験談も紹介され、大学生活を送るためのさまざまなヒントが新入生たちに提供されました。

(法学部准教授 水島玲央)

授業内容の理解を深める「基礎演習」

管理栄養学科では新入生が「大学での学び」を理解し、学習面から生活面に至るまでスムーズに適應できるよう「基礎演習」などの時間を活用して新しい仲間や教員とコミュニケーションをとりながら、さまざまな不安が解消できるよう配慮しています。

社会で求められる管理栄養士になるためには、毎日の授業をしっかりと理解することが大切です。それには、自分にあつた自主学習の方法を身につけること、習慣化することが必要不可欠なのですが、これを自分だけで行うのは、なかなか大変です。そこで管理栄養学科の「基礎演習」では週1回、授業の復習(ノート整理、キーワード学習)を中心とした学習会を行なっています。教員による指導のほか、ピアサポーターとして3年生有志が充実した個別サポートを行っています。



ピアサポーターによる個別サポート



教員による自主学習方法の指導



上級生による保育実践を見学(入学前スクーリング・教育保育学科)



「はらべこあおむし」のパネルシアター(フレッシュマンセミナー・教育保育学科)

Voice 入学前スクーリング スクーリングで学びの奥深さを知った

入学前スクーリングでは、グループワークや実験を通して「管理栄養士になるために、自分は何をするべきか」を学ぶことができ、とてもいい刺激になりました。入学前スクーリングのおかげで、高校で学んだ基礎知識の復習もでき、他の高校の方とも仲良くなれました。入学前の不安も消え、有意義な経験ができたと思います。



人間生活科学部 管理栄養学科1年 下山優美さん
青森県立三沢商業高等学校出身

Voice フレッシューズセミナー 将来へ向け、頑張りたいと思います

来日前、現地の先生からいろいろ教わったものの、実際に名経大に入学するまでは、将来の人生設計ができていませんでした。フレッシューズ・セミナーで先輩方から話を聞くことができ、自分が未熟であったことを実感しました。この4年間で何が必要かをしっかり学び、将来を切り開けるように、頑張っていきたいと思います。



法学部1年 カクレル・デヴィ・ブラサドさん
ネパール人留学生

Voice フレッシュマンセミナー ゼミの団結力が高まった2日間

フレッシュマンセミナーでは1泊2日の合宿を行いました。レクリエーションでは、話したくない人と話すことができ、先輩や先生方ともゲームを通じ、楽しみながら交流することができました。ゼミのメンバーとは2日間行動を共にしたことで、お互いのさまざまな一面を知ることができ、仲間同士の絆が一層深まったと思います。



人間生活科学部 教育保育学科1年 松山結音さん
誉高等学校(愛知県)出身

フレッシュマンセミナー 人間生活科学部 教育保育学科 犬山国際ユースホステル・野外民族博物館リトルワールド(犬山市) 4/20(金)~21(土) 仲間との交流を深めた2日間

これから始まる学生生活に向け、豊かな人間関係を構築しつつ切磋琢磨するための入り口を新入生に提供することを目的とし、フレッシュマンセミナーを実施しました。初日は14名の上級生サポーターによる幼児向けの手遊びの披露やレクリエーションを行い、2日目はゼミ毎に見学テーマを立てて行動し、ゼミ生同士の親睦を深めました。新入生にとって、4年間共に学ぶ仲間づくりだけでなく、上級生や教員との交流を深める機会となりました。(人間生活科学部 教育保育学科准教授 田中秀佳)



野外民族博物館リトルワールドを探索

リトルワールドを探索中! 花畑をバックに上級生を囲んで記念撮影



上級生のリードで「手遊び」を練習

平成29年度 卒業証書・学位記授与式

3月19日(月)、市郷記念体育館にて、名古屋経済大学大学院・名古屋経済大学・名古屋経済大学短期大学部の卒業証書・学位記授与式が執り行われ、学業において優秀な成績をおさめた学生および、文化活動における顕著な成績をおさめた学生を讃えて「学長賞」が授与されました。

佐分学長からは「卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業生の中には、留学生の第一期生47名が含まれ、そのうち日本で就職することを希望した36名全員が日本企業に就職することができました。これからみなさんは、新たな夢を持って社会に出ることになります。何事も初心忘るべからず。今抱いている、わくわく感を忘れることなく社会で活躍していただきたいと思います」との言葉が贈られました。また犬山市長の山田拓郎氏、犬山商工会議所会頭の日比野良太郎氏からの心のコもつた祝辞を頂戴しました。



卒業生代表 古山弥生さん

学長賞受賞者

【学業成績優秀者】

法学研究科 修士課程法学専攻
八嵐 茜さん

経済学部
小林 央さん

経営学部
加藤 史織さん

法学部
新沼 光さん

人間生活科学研究科 修士課程栄養管理専攻
和久 那津美さん

人間生活科学部 教育保育学科
小出 実奈さん

人間生活科学部 管理栄養学科
古山 弥生さん

短期大学部 保育科
太田 悠莉さん

【文化活動において顕著な功績があった学生】

法学研究科 修士課程法学専攻
ファム・ティ・フォン・タインさん

●2級知的財産管理技能士資格の取得
留学生支援事業での積極的交流

会計学研究科 会計学専攻(博士前期課程)
劉 瑩瑩さん

●TOEICでの好成績
女子留学生日本語弁論大会岐阜県大会
「優秀賞」

人間生活科学部 教育保育学科
砂川 隆成さん

●首席でのレクリエーション・インストラクターの資格を取得し
「あつまれ! 小牧あそび城」などへの指導・事業参加による功績



卒業証書を掲げ笑顔いっぱいの卒業生

平成29年度 「博士号」授与



平成29年度は、会計学研究科の2名の院生が栄えある博士号を取得されました。加藤嘉之氏(写真)は、「中小会社向け会計基準におけるキャッシュ・フロー情報のあり方に関する研究」により、また、犬飼玲子氏は、「工事進行基準に係る不正会計リスクに関する研究」により、博士(会計学)の学位を取得されました。両名とも佐藤敏昭研究室において研究に励み、素晴らしい成果を上げられました。これからも、お二人のさらなるご活躍を期待しています。

全国保育士養成協議会「会長賞」

全国保育士養成協議会は、保育士養成校を会員とする団体で、毎年、特に成績が優秀であり、保育士として就職が決定した学生に「会長賞」が授与されます。

平成29年度は、教育保育学科からは小出実奈さん(幼保連携型認定こども園七宝こども園勤務・名古屋経済大学高蔵高等学校出身)が、保育科最後の卒業生として、田幸真子さん(犬山市立子ども未来園勤務・桜花学園高等学校出身)がそれぞれ表彰され、同窓生からの祝福を受けそれぞれ笑顔で記念写真に収まりました。



記念写真に収まる小出さん



保育科長(当時)から表彰を受ける田幸さん

全国栄養士養成施設協会「会長賞」 日本フードスペシャリスト協会「会長賞」

管理栄養学科では、卒業とともに栄養士免許が取得できます。また、試験に合格することでフードスペシャリストの資格も取得できます。卒業式では、優秀な成績をおさめた学生に協会より「会長賞」が授与され、平成29年度は、栄養士養成施設協会会長賞に山本健人さん(株式会社LEOC勤務・静岡県立佐久間高等学校出身)が、フードスペシャリスト協会会長賞には、神谷有亜さん(ケンキョー株式会社勤務・愛知県立安城南高等学校出身)が受賞しました。



神谷さん(左)と山本さん(右)

平成29年度 大学顕彰表彰式

4月25日(水)、学業成績優秀者と優れた実績を残した個人、団体に対する「平成29年度大学顕彰表彰式」が開催され、佐分学長より祝福の言葉が述べられ、来場者からはあたたかな拍手が送られました。また、受賞者には1年間のたゆまぬ努力を讃えて奨学金が贈られました。今後も学生たちの一層の活躍を期待しています。



【学業成績優秀者】

経済学部

4年 水上 知也さん
吉本 一貴さん
矢郷 正輝さん

3年 鳥居 優一郎さん
村瀬 健太さん
劉 帥さん

2年 宋 昕航さん
中村 翼さん
永井 高輝さん

経営学部

4年 ルー・フック・ホアイ・ティエンさん
邵 夢南さん
ド・ティ・ビック・リエンさん

3年 鈴木 里佳さん
フィ・ティ・フォン・ランさん
ルウィン・ミ・ミン・ティエンさん

2年 那 倩さん
大倉 真千子さん
ファム・ティ・スアン・リンさん

法学部

4年 夏目 和希さん
寺尾 忠蔵さん
徐 強さん

3年 今井 鋭之さん
吉田 有輝也さん
林田 卓也さん

2年 池田 拓海さん
劉 喜拳さん
平野 陽大さん

人間生活科学部 教育保育学科

4年 宮田 祐希さん
我妻 まゆさん
野田 千晶さん

3年 藤山 拓哉さん
矢田 裕亮さん
柳川 愛里さん

2年 山口 悠河さん
西川 佑佳さん
長谷川 明里さん

人間生活科学部 管理栄養学科

4年 黒澤 砂代さん
中村 綾さん
西田 真緒さん

3年 中村 風香さん
伊藤 汐理さん
河村 彩里さん

2年 藤井 雅斗さん
久保田 脩人さん
上村 麻吏奈さん



「学業成績優秀者」として表彰された鳥居さん

【学術・文化に優れた実績を残した団体】

奨励賞

「人間生活科学部 管理栄養学科 3年」

伊藤 汐理さん 梶浦 佑華さん 松村 鷹汰さん
伊藤 めいさん 前田 こはるさん 山本 真由奈さん

●企業と連携したお弁当の共同開発と販売、地域への食を中心とした地域貢献活動が認められた。

【学術・文化に優れた実績を残した個人】

奨励賞

法学部 3年 寺澤 一聖さん

●成績優秀、積極的な資格の取得、ゼミでの貢献など、他の学生の模範となる行動が認められる。

保育科最後の卒業生「2年間の学び」

1月18日(木)から2月15日(木)まで、保育科最後の卒業生による2年間の学びを表現した合計54作品が図書館1階ロビーに展示されました。子どもの成長に合わせた、さまざまな種類のおもちゃ、ゲーム、メッセージカード、紙芝居、シアター、ドレスなど、ハイレベルな作品ばかり。どの作品にも作者の深い思いが込められた素晴らしい展示となり、来場した多くの方々から賛嘆されました。



(人間生活科学部 教育保育学科教授 光松佐和子) 賛嘆をあげた数々の展示作品

Voice みんなの力が結集され大成功

保育科で学んだことは、たくさんの人の支えがあれば試練を乗り越えられるということです。辛くても相談できる先生方や一緒に頑張る友人の存在があり、実習を無事に終えることができました。ゼミで開催したファッションショーも、みんなの力で素晴らしい作品になりました。現場で働く大変なこともあります、学んだことを活かして保育者として頑張っていきたいです。



短期大学部 保育科卒業生 松原雄美さん
名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身 ●小稚幼稚園勤務

「いちむらっこまつり」で子どもたちと交流

「いちむらっこまつり」を、12月8日(金)に名古屋経済大学附属市郷幼稚園で、翌週15日(金)には犬山市立楽田東子ども未来園と犬山市立楽田子ども未来園で実施しました。これは、保育科2年生科目「保育・教職実践演習」の一環として行うもので、2年生が協力して企画、運営を進めます。

「スマイリー ～みんなであつこう～」というスローガンのもと、各グループの個性と笑顔が光る2年間の学びの集大成にふさわしい活動となりました。(人間生活科学部 教育保育学科准教授 関谷みのぶ)



劇「きつねのおきゃくさま」を熱演(附属市郷幼稚園)



サンタと一緒に遊戯(楽田東子ども未来園)



キラキラツリーに大喜びの子どもたち(楽田子ども未来園)

若い発想を地域へ提案「犬山市長と語ろう！」

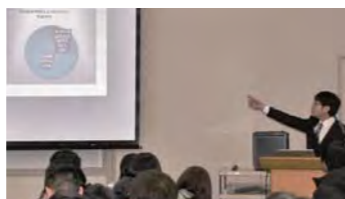
1月16日(火)、犬山国際観光センターフロイデにて「犬山市長と語ろう！」を開催しました。この企画は犬山市をより良くするために、学生たちが学生目線で気づいた点を発表する場として開催しています。体験型プロジェクトから「犬山の観光戦略を考える!」「犬山創業」、経営学部の山下・大曾合同ゼミ、留学生(2組)の総勢42名の学生が参加し、プレゼンテーションを行いました。山田拓郎犬山市長や市職員、関連団体の皆様方にも



犬山市長からの講評

ご出席いただき、市長からはプレゼンテーションに対する講評をいただきました。

今後このような実践的な学びの場を学生に提供していきたいと思えます。



自作のスライドを活用してプレゼンテーション

留学生
 ・ごみマイスター
 ・留学生を犬山市へ引き寄せるには?

体験型プロジェクト「観光戦略を考える」
 ・『犬山たび』の改良点の提案 ・SNSを使った明治村・リトルワールドの宣伝
 ・犬山城下町の夜を観光場所にしたい!
 ・犬山全体をPR～明治風ホテルの開発・私たちにできること～

体験型プロジェクト「犬山で創業するための秘密を探ろう！」
 ・婚活による人口拡大 ・魅力ある犬山づくり
 ・城下町風モールを作り、犬山の楽しみ方の幅を広げよう
 ・外国人向け観光の開発と新しいお祭りの創出

山下・大曾ゼミ
 ・犬山市シルバー人材センター「ミニトマト栽培事業のビジネスモデル」

犬山市議会を知る一步「ピアンキ議長に会いに行こう！」

選挙権年齢18歳への引き下げを受け、地域の政治を知るために、門脇ゼミの1・2年生(当時の学年)は、犬山市議会のピアンキ議長を訪ねました。ピアンキ議長からは、犬山市議会の議員を経て議長に就任された経緯や、特に力を入れている情報公開と市民参加の取り組みについてお話を伺いました。その後、学生は議場の議員席から議長に質問するという貴重な体験をさせていただきました。ピアンキ議長は、学生からの多くの質問に丁寧に答えてくださいました。(法学部教授 門脇美恵)

Voice 議会の仕組みを知る、貴重な体験

今回の犬山市議会訪問では、ゼミ生一人ひとりがピアンキ議長にいろいろと気になることや、疑問に思うことを質問する時間がありました。ピアンキ議長は私たちにわかりやすく説明してくださり、貴重な体験ができました。議会の仕組みを知ることができるとともに、議会の雰囲気も身近に感じることができ、勉強になりました。

法学部3年 寺澤一聖さん
 誠信高等学校(愛知県)出身

ピアンキ議長(後列)と議長席で記念撮影



▲犬山市議会について議会事務局よりレクチャーを受ける

▼議長との間で質疑応答



基礎演習Iでグループワーク ミニトマト栽培事業のビジネスモデルを考える

犬山市シルバー人材センターと犬山市役所産業課の協力により、ミニトマト栽培事業のビジネスモデルの考案を通じて、「スタディ・スキル」読む、書く、まとめる、調べる、伝える”を学びました。学生たちは、ミニトマトの試食評価や犬山市シルバー人材センターと犬山市役所産業課の方たちとグループワークを実施し、ミニトマト栽培事業のビジネスモデルを作り上げていきました。最終報告会では多くの講評をいただき、また犬山市長の前で報告する機会もいただくことができました。

(経営学部准教授 山下幸裕)



▲最終報告会



▲「犬山市長と語ろう!」において成果を発表

「犬山祭」で賑わう犬山城下町で本学学生が大活躍!

4月7日(土)・8日(日)、犬山城下町で開催された「犬山祭」に本学の犬山観光学生大使5名が今年度の初仕事として犬山市の観光案内を行いました。犬山商工会議所ブースでは、昨秋、犬山商工会議所青年部と管理栄養学科の学生が共同開発した「石上げピラフー」の販売を行いました。また、経営学部1年の大浜さん(石垣市出身)は、犬山市友好都市物産展の石垣市のブースで石垣市商工会の方と共に、黒糖・海ブドウ・パイナップル・泡盛といった石垣島の特産品の販売を行い、石垣島のPRに努めました。



犬山商工会議所とのコラボで商品化! 次々と売れていく「石上げピラフー」



「犬山市の観光案内」を担当

Voice 大好きな地元「石垣島」をPR

石垣島の観光と特産品を「犬山祭」でPRできるチャンスに巡り会い、犬山商工会の特設ブースで販売のお手伝いをしました。用意した商品も完売するほど多くの方に来店いただき、新鮮な体験に感動の連続でした。将来は石垣島に戻り、企業と商品の仲介をし、既存の商品に付加価値をつけて新たな商品を生み出すような仕事ができたかと思っています。

経営学部1年 大浜寛敬さん 沖縄県立八重山高等学校出身



扶桑町の子育て世代をサポート「子育ておうえん講座」

誰もが持つ子育てや子どもとのふれあい方の悩みを解決する一助として、教育保育学科・管理栄養学科の教員と学生が中心となり扶桑町教育委員会・扶桑町主催による全4回の「子育ておうえん講座」を実施しました。第1・4回は多川教授の講座「子どもの安全基地になるために」。グループワークでの意見交換や子育てを振り返る機会を提供するとともに、子育てのエッセンスをお伝えし、託児コーナーでは未就園児を学生がお世話しました。

第2回は相澤教授による「親子でクリスマスケーキブッシュ・ド・ノエルを作ろう!」。学生がサポート役となりクリスマスケーキ作りに挑戦。ケーキのデコレーションに積極的に挑む子どもたちの微笑ましい姿が印象的でした。



「あわてんぼうのサンタクロース」をみんなで一緒に

第3回は長江特任教授・関谷准教授と学生が「親子ふれあいあそび」と題して「ねこのおしやさん」のお話や帽子の親子工作を実施。最後はクリスマスソングを歌い、楽しい時間を過ごすことができました。

同じ悩みを持つ子育て世代の間で話ができる機会を提供でき、また学生たちの活躍もあり全4回の「子育ておうえん講座」は、大好評でした。



講座「子どもの安全基地になるために」



「親子工作」



スポンジケーキが焼けた様子

大口町内の大口北児童センター施設見学と大口町立北保育園の園児との交流

2月5日(月)、保育士・小学校教諭を目指す学生が、町内2つの施設を見学させていただきました。北保育園では見学だけでなく、給食までの時間を園児と一緒に過ごさせていただき、学生たちも日頃の実習の成果をお見せすることができました。学生たちが帰る頃には、「もう帰っちゃうの?」と園児から別れを惜む声があがり、「また来てね〜」とハイタッチでの見送りにくわえ、「木育*」の体感もでき、感激いっぱいの日になりました。

*大口町は、北保育園の木造園舎を契機として、木や森とふれあうことで子どもの心や体を育て「いのち」を大切にしよう。という「木育活動」に取り組んでいます。



大口町と地域連携活動 憩いの四季&図書館まつりに「いろは」が出演

2月3日(土)・4日(日)、憩いの四季・大口町立図書館で図書館主催の「憩いの四季&図書館まつり」のイベントが開催されました。

4日には、「子どもの読書推進事業」の一環で本学が企画の依頼を受け児童文化サークル「いろは」が幼児向けにパネルシアター『大きなスイミーと!』と、劇『おおきなかぶ』を上演しました。100名を超える参加者に見守られ、会場がひとつになった楽しい空間ができました。



みんなで力を合わせて「よっころしよ!」

「こまなびフェスティバル2018」クイズ&食生活アドバイスで市民と交流

1月28日(日)、小牧市で開催された「おとなと子どもの生涯学習のつどい〜こまなびフェスティバル2018」に管理栄養学科2年生(出展当時の学年)が出展しました。学生手づくりの「食べ物豆知識」クイズや食事バランスガイドを用いた「食生活アドバイス」など、子どもからシニアの皆さままで、たくさんの方に楽しんでいただくことができました。※27日(土)は展示参加のみ。



シニアの方へ食生活アドバイス

「クイズ」で子どもたちも楽しく交流

平成29年度後期 大学連携市民講座
「健康づくりのための栄養と食事」

小牧市教育委員会の生涯学習課と連携し、2月10日(土)・17日(土)、小牧市公民館と本学で大学連携市民講座を開講。「小牧のみんなで健康長寿」をテーマに、いつまでもイキイキと笑顔で「質の高い生活」を送るための栄養について楽しく美味しく学びましょうと、24名にご参加いただきました。健康長寿と栄養に関する専門的な講義では、多くの質問や食生活のご相談をいただき、学習意欲の高さに驚くとともに、大変嬉しく思いました。学生と一緒に取り組んだ調理実習では、講義内容を踏まえ、多様な食品をバランスよく摂取できるよう考えたレシピも好評をいただきました。試食中にも質問をいただき「健康長寿と栄養」への関心に応える充実した2日間になりました。



ミニ講義(下)と調理実習(上)



Voice 信頼される**管理栄養士**になるために

ゼミ生全員で準備したパネルクイズ「おやつの中に含まれるさとうは、角さとうで何個?」は、子どもから大人まで多くの方に楽しんでいただき大成功。食事バランスガイドを用いた食生活アドバイスでは、知識不足を痛感。「一人ひとりとしっかり向き合い、信頼される管理栄養士になるために、もっともっと勉強しないと」と学習への意欲も高まりました。貴重な経験をさせていただけたことに感謝し、今後もこのような活動に積極的に参加していきたいと思っています。

人間生活科学部 管理栄養学科3年 梶浦佑華さん
啓明学館高等学校(愛知県)出身

Voice 健康長寿を「食」から考える

健康長寿をテーマに地域の皆さんと一緒に調理実習を行いました。普段はあまり調理をされないという男性、料理は毎日作るという先輩まで、性別や年齢もさまざまな方々の実習では、学ぶことがたくさんありました。また、受講生の方々の健康や栄養に対する関心の高さを実感し、管理栄養士が果たす役割をあらためて考える機会になりました。大学で学んだ知識や技術を実践に繋げ、コミュニケーション能力を高めるとも貴重な経験ができました。

人間生活科学部 管理栄養学科3年 伊藤めぐみさん
名古屋経済大学市邨高等学校(愛知県)出身

簡単!
栄養バランスアップメニュー

- とっておきの玄米ごはん
- 魚のカレーココナッツミルク煮
- 白菜とわかめのさっぱりサラダ
- 根菜ときのこのスープ
- おからアイスクリーム



●総エネルギー 590kcal

こまき産業フェスタ2018 教育保育学科の学生が
「わくわくパックん どうぶつひろば」を出展

5月26日(土)・27日(日)、「こまき産業フェスタ」に教育保育学科3年生のゼミが合同参加しました。親子連れや小学生に楽しんでもらえるよう、全員でボール投げゲームを制作。多くの子どもたちが遊びに来てくれて、嬉しかったです。また、子どもと目線を合わせて接していたため、ボールが的に入った時の子どもたちの喜ぶ顔も見ることができました。自分たちで手作りしたゲームで遊んでもらえて、やりがいを感じました。

人間生活科学部 教育保育学科3年 雛成美幸さん
愛知県立犬山高等学校出身



子どもたちを優しく見守る雛成さん(左)

「わくわくパックん どうぶつひろば」に行列ができた

マックスバリュ中部と2度目の共同開発・販売企画
ちゃんとごはん「冬のごちそうバランス御膳」の試食販売イベント

昨年の7月から取り組んできた、マックスバリュ中部との共同開発・販売企画「冬のごちそうバランス御膳」が1月6日(土)~8日(月)に続き、2月15日(木)~18日(日)までの4日間、愛知・岐阜・三重・滋賀県内(一部店舗を除く)101店舗で期間限定販売されました。2度目の販売初日は、マックスバリュ春日井坂下店の売場に学生自らが商品に込めた思いやこだわりポイントを直接お客さまに説明する、試食販売イベントを行いました。ドキドキしながら



売り場に立ち「冬のごちそうバランス御膳」の内容を笑顔で説明

ら迎えたこの日ですが、約2時間でこの日用意された100食のお弁当の内70食を販売することができました。多くのお客さまが足を止め、耳を傾け、試食では率直なご意見もいただくことができました。このイベントでさまざまな年代のお客さまとコミュニケーションができ、学生たちの少し成長した姿を目にすることができました。

Voice お客様と直接向き合う貴重な体験

売り場で試食販売を体験。特に印象に残ったのは小さな子どもとお母さん。子どもに目線を合わせて腰を落とし笑顔で「どれ食べる?」と聞くと、「これ!」と指差したのは「リンゴ入り酢豚」。リンゴの食感が珍しかったのか少し間をおき「おいしい」と、2食お買い上げいただきました。さまざまな年代のお客さまと直接向き合う貴重な体験で、素敵な出会いがありました。

人間生活科学部 管理栄養学科3年 松村鷹汰さん
東京都市大学塩尻高等学校(長野県)出身



早い段階から企業を知るために「志プロジェクト」に参加
「会社案内」制作から企業を考える

富士ゼロックス株式会社と株式会社コムラの協力を得て、経営学部2年生ゼミにおいて「志プロジェクト」に参加しました。

学生が会社にアポイントを取り、会社訪問・社員の方々へのインタビューを通して、学生視点による会社案内を作成しました。最終報告会において、学生は、企業の方々から会社案内に関する多くの講評をいただくことができました。今後の学生生活や就職活動などに関わる有意義なアドバイスをいただくことができました。

早い段階から学生が会社と関わる機会を提供することができれば、という思いからプロジェクトの参加を決めました。

(経営学部准教授 大曾暢烈)



「最終報告会」でのプレゼンテーション

学生たちが手がけた「会社案内」

タリーズコーヒー OKB田県店で子どもたちへ絵本の「読み聞かせ」

4月10日(火)、教育保育学科の学生がタリーズコーヒー OKB田県店のキッズスペースで絵本の「読み聞かせ」を行いました。月2回のペースで開かれるこの企画も2年目を迎え、「読み聞かせ」を楽しみに開催日に来店くださるお客さまも増えています。学生たちもその期待に少しでも応えようと、想像力が育まれるような絵本を選び、練習を重ね、子どもたちと楽しい経験を共有する中で実践力を身につけています。



緊張しながらも、笑顔で「読み聞かせ」をする

体験型 Project 体験型プロジェクト2017「報告」

税を考える週間「くらしを支える税」特別講義

毎年11月11日(土)から17日(金)は税に関する知識と理解を深めてもらうために国税庁が「税を考える週間」としていろいろなイベントを行っています。本学でも、体験型プロジェクト「税金のゆくえ」とコラボレーションして、名古屋国税局小牧税務署長の久保山久治氏に、ふだん理解しづらい、または誤解されている税金の仕組みやその種類などについてとてもわかりやすく講演していただきました。体験型プロジェクトに参加している学生と、その他税金に興味のある学生およそ50名が熱心に話を聴きました。

(経営学部准教授 佐藤豊和)



名古屋国税局小牧税務署 久保山久治署長による講義

Voice “税金のゆくえ”暮らしの中の「税の仕組み」を理解

税金に興味があり、体験型プロジェクト「税金のゆくえ」に参加し、税務署の方にわかりやすく税金の仕組みを解説していただきました。さらに、犬山市役所の税務課を訪問し、税金をどのように集めて、どのように市民のために使っているかなどのお話を聴くことができました。



また、講義でも、実際の確定申告の仕方を先生に教えていただき、税金の還付方法についても学ぶことができました。

経営学部2年 ファン・スアン・ビエットさん
ベトナム人留学生

Voice “らしさを生み出すブランドづくり”パーソナル・ブランディングに活かせる学び

私は本講義を通して、自分らしさを見つけることができました。実際に企業を訪問して、企業が長期的に自社ブランド価値を高めるために、お客様との関わりを第一に考え、他社との差別化を図る努力をしていることも学びました。本講義で学んだことを活かし、1年後の就職活動の際に、志望企業に対して魅力ある自分をアピールできるよう、さらに自分らしさを磨いて行こうと考えています。



経営学部3年 鈴木里佳さん クラーク記念国際高等学校(岐阜県)出身

「らしさを生み出すブランドづくりを企業と共に考える」最終プレゼン&修了証書授与式

本プロジェクトでは、まず、企業のブランディングに関する基礎的な知識と成功事例について学習しました。また、三立興産株式会社の本社訪問と企業説明会をはじめ、株式会社ニックスの青木一英社長の講演会などを通して、普段テキストで学べない現場の生の声とブランディングに関する実践的な知識を学習することができました。さらに、上記2社の関係者の方々のコミュニケーションを通して、今後学生が就職活動を行う際に有効活用できるパーソナル・ブランディングに関する基本的な知識・ノウハウも身につけることができました。最後に、本プロジェクトの最終プレゼンを通して、2017年度では13名のブランド・スペシャリストたちが誕生しました。

(経営学部准教授 徐誠敏、李美善)



最終プレゼンテーションを終え「修了証書」を手に記念撮影



「三立興産株式会社」会社訪問

最終プレゼンテーション「優勝」チーム「スキミル貝」のプレゼンテーション

“日本の伝統文化を知る”実際に体験して、「伝統文化」の奥深さを知る

体験型プロジェクトの「日本の伝統文化を知る」では地域の皆さんにご協力いただき、学生がお囃子(祭りの音楽)、盆踊り、茶道、合気道、着付けなど、さまざまな日本の伝統文化を体験しています。

お囃子では太鼓の体験でバチの持ち方、握る力加減などを指導していただき、「げんげんばらばら」という盆踊りも体験することができました。「茶道」では歴史を振り返り、挨拶や茶会での立ち振る舞いを学びました。さまざまな「日本の伝統文化」を知ることで、貴重な体験を得ることができたと思います。



「茶道」の歴史を学び一連の作法を身につける



お囃子の「太鼓」体験 バチの持ち方・握る強さ・リズムの打ち方を習う

“日本の農業を体験から考えよう!” 自然災害の実体験から農業の難しさを学ぶ

体験型プロジェクト「日本の農業を体験から考えよう!」は、米作り、野菜の有機栽培、ニホンミツバチによる養蜂の3つの体験を通じて日本の農業の実態の一端を肌で感じ、社会科学の視点から学生なりの農業をめぐる課題を発見することを目標としています。

JA愛知北の職員、指導員や地元の養蜂家などの多くの方々のご指導の下、多くの留学生も取り組んでいます。事前のレクチャーでは、犬山地域で栽培される米の銘柄は「あいちのかおり」であること、これは入鹿池用水の配水時期と栽培適期とで決定されていることなどの事情を知ることができ



苗を運んで田植えの準備



ニホンミツバチが集めた花粉(養蜂箱の出入り口)

ニホンミツバチの養蜂箱

ました。また、ニホンミツバチによる養蜂の難しさとニホンミツバチの蜂蜜の貴重性についても学ぶことができました。

2017年は、さまざまなバブニングに見舞われ、秋の長雨により稲刈りが大幅に遅れました。養蜂では、夏休み中に害虫が発生し、学生は採蜜に立ち会うことができませんでした。さらに、秋は台風による巣箱の倒壊に端を発し、スズメバチの大量襲来でニホンミツバチが全滅してしまいました。農業が自然環境の影響を受ける産業であることを実体験する結果になりました。



(法学部教授 美濃羽正康)

見事なできに大満足



地域の方に支えられ「稲刈り」に真剣に取り組む受講生

“身近な食を知る”食にまつわる仕組みを知るために、現場で体験的に学ぶ

このプランは身近な食べ物に注目し、それをもとに社会のさまざまな「仕組み」に関心を持つことを目標としています。学外実習では名古屋市中央卸売市場北部市場を訪れ、食料品が手元に届くまでの「仕組み」を学びました。さらにJA尾張中央が運営する「ぐっぴいひろば」では、食の安全を「見える化」したトレーサビリティの「仕組み」を知り、スイーツを製造するモンテール美濃加茂工場では徹底した衛生・品質管理の「仕組み」を見学しました。

名古屋中央卸売市場北部市場(豊山町)を見学!



▲固定せり台に乗り、せりの説明を聞く 市場内の低温貯蔵室を見学▶

Voice 現場を知り、見識が深まる経験

日本全国から野菜・果物・鮮魚が大量に集まり、品質管理のための保冷倉庫のある北部市場を訪れた後、ぐっぴいひろばでは、愛知県産の新鮮な野菜・果物が売られる現場を見学しました。一番印象に残ったのは初めて日本の工場を見学したモンテールの工場です。生地づくりから出荷までさまざまなスイーツの製造工程がよくわかり、素晴らしい体験をさせていただきました。

経営学部2年 レ・チュン・ティンさん
ベトナム人留学生



小牧市国際交流ふれあいフェスタ会場において
ウズベキスタンとネパールの留学生が「なかよしワールドカフェ」を開催

1月21日(日)、小牧市公民館を会場に「小牧市国際交流ふれあいフェスタ」のロビーイベント「なかよしワールドカフェ」が開催されました。

当日は本学のウズベキスタン人留学生4名とネパール人留学生4名が協力し、それぞれ自国のお茶やお菓子を来場者にふるまいながら、スライドやPCを駆使して自国の文化や言葉などを紹介しました。



何度も小牧市の関係各所の方々と打ち合わせを重ね、来場された方々に楽しんでもらいたいと準備を進めてきた留学生たちは、イベント後、「多くの来場者にウズベキスタンやネパールに興味を持っていただけて嬉しく、今後も留学生だからできるイベントへ積極的に参加したい」と話していました。



留学生が来場者へ向けPCを使って自国をPR

『ここにおいでよ、新しい犬山 ~世界を発見、自分を発見~』
第22回フロイデまつりを盛り上げる

12月10日(日)、犬山国際観光センターフロイデで開催された「第22回フロイデまつり」に本学のベトナム人留学生たちが中心となり、「フォーとチエー」のお店を出店しました。フロイデまつりへの参加は犬山国際交流協会と連携した取り組みとして恒例行事となっています。

参加した学生たちは試行錯誤しながら、事前準備から当日の販売まで一生懸命に取り組みました。その甲斐あって準備した商品はみごとに完売！学生たちにとって貴重な体験となりました。その他、体験型プロジェクト「日本の伝統文化を知る」を受講する学生(日本人学生・留学生)たちは着物を着て、ファッションショーに出演するとともに茶道体験にも参加し、来場者との交流を楽しみました。



ファッションショーを終え、晴れ着で記念撮影



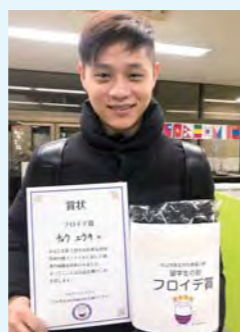
着物に着替え「茶道体験」に参加



さっぱり出汁に米粉の麺が美味しい「フォー」
野菜もたっぷりて当日用意した商品は、瞬間に完売！

“犬山市男女共同参画川柳”
留学生の部で「フロイデ賞」を受賞

犬山市共同参画川柳 留学生の部において100首以上の応募作品



受賞作品(右端)
「つかれたら たまに休んでもいいですよ」

の中から、本学の留学生8名の9つの作品がノミネートされ、会場に掲示されました。当日会場で行われた投票の結果、経営学部3年 中国人留学生のチョウ・ユウキさんが見事「フロイデ賞」を受賞しました。



ベトナム料理
フォーとチエーの店、大繁盛！！

恒例となった「第3回 ベトナム学生派遣研修」
オープンマインドを育み無事に帰国

2月23日(金)~3月1日(木)、2017年度 名経大グローバル人材プロジェクトの一環として「ベトナム学生派遣研修」に日本人学生9名が参加し、研修先のベトナムでは8名の留学生がホームステイや現地通訳などでサポートを行いました。本研修は学生のオープンマインドを育て、新しいことに挑戦する精神を涵養すること、留学生の母国やアジア地域に親しみや関心を持ち、本学のグローバル化のきっかけを作ることを主な目的として2015年度から実施しています。ハノイ、ホーチミンの両市でホームステイ、企業見学、ベトナムの大学生との交流が行われました。学生たちは企画段階から主体的に参画するなど、これまで以上に有意義な研修となりました。



「エースック」企業訪問
日本との企業理念や戦略の違いを知る



「OKB」企業訪問

犬山留学生ごみマイスター育成&交流行事
事業報告と地域住民のお宅へのホームステイ&ホームビジット

1月8日(月)、ごみマイスター候補の7名の留学生が犬山市民活動支援センター「しみんてい」にて、ごみの分別を学ぶゲームイベントを開催し、地域住民や在住外国人の方々と共にごみの分別方法を学びました。また、ごみマイスター候補生たちは2月22日(木)~23日(金)と3月28日(水)、平成29年度犬山市民活動助成金受託「犬山留学生ごみマイスター」事業の一環として、1泊2日のホームステイとホームビジットの交流活動に参加。日々の



ごみマイスター候補の留学生が「ごみの分別を学ぶ」ゲームイベントを企画・運営

現地の日本企業を訪問！！



ホーチミンのグエンフェ通りで「人民委員会庁舎」をバックに記念撮影

Voice 世界への興味が広がる、楽しい経験に！

エースックとOKBへの企業訪問では、日本と現地企業の業務内容や戦略の違いなど興味深いお話を聞くことができました。ホーチミン法科大学で交流のあった現地の学生とは、今も頻りにインスタグラムを通して情報交換をしています。当初はホームステイ先で、文化の違いに戸惑うこともありましたが、交流の機会が増えれば、もっと互いを知ることができると思います。「学生派遣研修」は、海外企業への興味を膨らませ、私の世界観まで変える貴重な経験になりました。



経営学部2年 大倉真千子さん 愛知県立中村高等学校出身



暮らしの中で各家庭がどのようにごみを分別しているのかを間近で体験し、町内会や自治会、出身国との違いなど、さまざまな観点からごみ分別に関わる知識を深めました。

候補生たちは、今後はごみマイスターとして、交流事業で得た知識を他の在住外国人に伝えるための活動に積極的に取り組んでいく予定です。

Voice 正しいごみ処理方法の伝道師

ごみマイスターになるために講習会に参加し、多くの人々と交流しながら実際にごみをどう分別するかを教えていただき、活動を通して犬山市長にプレゼンテーションを行いました。「習慣が違う」「漢字が読めない」「教えてくれる人がいない」という問題を抱えている外国人が多いのですが、ごみマイスターチームで考えた解決案を市長に伝えることができ、よかったですと思っています。



経営学部4年 ダン・ティン・チョンさん
ベトナム人留学生

犬山学研究センター第5回勉強会

ジオ鉄®入門 ～大地の物語を楽しむ鉄道旅への誘い～

1月22日(月)、犬山市役所を会場に「ジオ鉄®入門～大地の物語を楽しむ鉄道旅への誘い～」と題して犬山学研究センター主催の第5回勉強会を行いました。公益財団法人深田地質研究所主任研究員で深田研ジオ鉄普及



委員会幹事の藤田勝代氏を講師にお招きし、沿道に広がる地質地形を楽しめる鉄道旅「ジオ鉄」について「土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線」や

「三陸鉄道」などの地域おこし・まちおこしの取り組み事例をご紹介いただきました。また、鉄道を利用しながら沿線に広がる地質地形を楽しむ気軽な旅で自然科学に興味を持っていただき、それを町おこしに繋げる方法についても講演いただきました。犬山市・犬山商工会議所・企業・研究機関・本学教職員など多方面からの参加者と、犬山チャートから読み解く地球史や明治村にある鉄道遺産など、犬山市周辺のジオ鉄の魅力や可能性について意見交換がされました。

ジオ鉄Web
<http://fgi.or.jp/geo-tetsu/>
 ジオ鉄の最新情報をご覧ください。
ジオ鉄®とは?!
 地球や大地を表す言葉に用いられるgeo(ジオ)と、鉄道ファンの愛称「鉄(テツ)」にちなむ造語で、鉄道に対する親しみと敬意を込めて2009年に生まれた新しい言葉です。

犬山学研究センター 第1回犬山学サロン

古代史から見た犬山という場面 ～犬山に伝えられた3つの物語と2つの言葉～

「犬山学」について、「勉強会」に続き座談会のスタイルで講師と参加者が気軽に語り合う場を提供しようと「犬山学サロン」を企画しました。

2月6日(火)の第1回は、本学に特定非営利活動法人 古代遼波(にわ)の里・文化遺産ネットワーク赤塚次郎理事長を講師にお招きし、「古代史」という角度から木曾川の氾濫や入鹿池が決壊を起こした経緯を、地域に伝承される昔話を交えて解説をしていただきました。遺跡がどう滅び、どう再生したのかを知ることが、過去を学ぶだけでなく未来を考えるヒントとなり、これからのまちづくりにも活かされると提言。約2000年の時を振り返り、人と自然の共存について考え・学び、「犬山」を見つめ直す良い機会となりました。



座談会で手ぶりを交え参加者に語りかける赤塚氏

ウズベキスタン法シンポジウム報告と
駐日ウズベキスタン共和国特任大使が来学

12月1日(金)、名古屋市でUzbek Journal of Legal Studies (UJOLS)の初めてのシンポジウムが開催されました。これは法学部のウミリデノフ・アリシエル准教授が編集主幹を務めるUJOLS委員会によって企画されました。パネリストは日本に留学しているウズベク人の大学院生及び海外で活躍している若手研究者であり、各パネルにベテランの日本人の先生方がコメントーターとして参加しました。

現在、本学では9名のウズベキスタン留学生が学んでおり、2018年4月には駐日本ウズベキスタン共和国特命全権大使が来学されました。今後、本学はウズベキスタンと日本、犬山および愛知県の交流の架け橋となれるよう、研究・教育交流を一層進めていく予定です。



シンポジウムで報告をするアリシエル准教授(右)



ファジロフ・ガイラト特命全権大使(後列左から5番目)を囲んで記念撮影



「ウズベキスタン法シンポジウム」の開会式の様子

市邨学園 創立111周年 記念講演会『最初の1歩を踏み出すチカラ』と
大学院・大学・短期大学部合同大同窓会を開催

3月3日(土)、本学園は創立111年を迎え新たな1歩を踏み出すべく、「学校法人市邨学園創立111周年記念講演会」を開催しました。記念講演はトヨタ自動車株式会社取締役会長の内山田竹志氏に「イノベーションが未来を拓く」、前中華人民共和国特命全権大使・前伊藤忠商事株式会社取締役会長の丹羽宇一郎氏に「グローバル経済と日本の将来考」の演題で講演いただきました。

また、講演終了後に開催された「合同大同窓会」には、大学院・大学・短期大学部の卒業生、旧職員・現教職員など多くの参加者が久しぶりの再会を祝い、会場は歓喜の声に包まれていました。



丹羽宇一郎氏の講演▶

▲内山田竹志氏の講演

トヨタ自動車株式会社 取締役会長 ● 内山田 竹志氏

「イノベーションが未来を拓く」ー電動化はプリウスの1歩から始まったー

前中華人民共和国特命全権大使、前伊藤忠商事株式会社 取締役会長 ● 丹羽 宇一郎氏

日本で1番最初に民間出身の中国大使になった男の「グローバル経済と日本の将来考」

学生時代に戻って!

市邨短大の大学歌を唱和する市邨学園短期大学の元合唱部卒業生の皆さん



学園創立111周年
「合同大同窓会」
久しぶりの再会に
会場も盛り上がりました!

合同大同窓会「開会の挨拶」をする
朝倉充俊 大学院同窓会会長



犬山市民総合大学敬道館と連携企画

名古屋経済大学オープンカレッジ2018 開催のお知らせ

名古屋経済大学オープンカレッジ
問い合わせ先●犬山学研究センター TEL 0568-68-3282

「～知を営む～ 名経で再発見!」をテーマに、新しい分野へのチャレンジやシニアの学び直しをサポートする「名古屋経済大学オープンカレッジ」

は、本学と犬山市民総合大学敬道館との連携事業として「地域に親しまれる大学づくり」を目指し、魅力ある講座をさまざまな分野で開催いたします。

第1回 うつ病とマインドフルネス認知療法

9月29日(土) 10:00~11:30 ●人間生活科学部教授 家接哲次
●犬山国際観光センター(2F 多目的研修室1・2)

うつ病の再発予防効果が高いとされている「マインドフルネス認知療法」をわかりやすく解説します。

第3回 自由民権運動期の犬山

10月14日(日) 10:00~11:30 ●経営学部教授 中村真咲
●名古屋経済大学(7E2教室) ※名経祭(大学祭)同時開催

自由民権運動期の犬山について、同時代の東アジアにおける比較憲法史という文脈から考えます。

第2回 明治維新と犬山の科学技術

10月13日(土) 10:00~11:30 ●経済学部教授 菊池好行
●名古屋経済大学(7E2教室) ※名経祭(大学祭)同時開催

今年150周年を迎える明治維新が犬山および周辺地域の科学技術にどのような影響を与えたのかについてお話しします。

第4回 インターネットの利用と著作権

11月17日(土) 10:00~11:30 ●法学部准教授 瀧麻依子
●犬山国際観光センター(2F 多目的研修室1・2)

現代の生活においてインターネットの利用は不可欠です。その利用の際に注意すべきことを著作権法の観点から学びます。

名古屋経済大学オープンカレッジ
申込フォーム



犬山市民総合大学敬道館

検索